



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

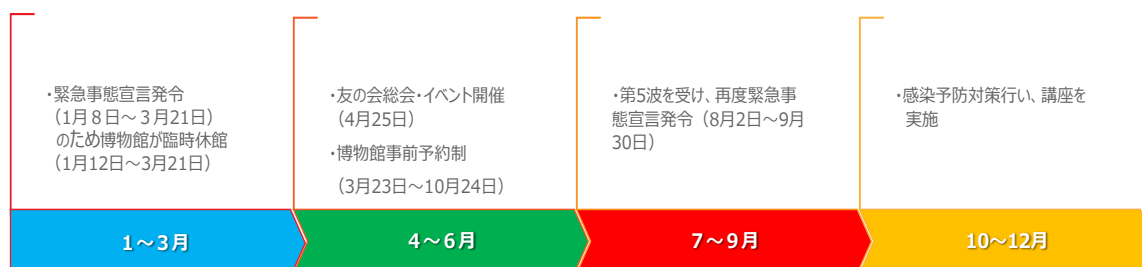
友の会通信

114

2021.12

Vol.25 No.3 通巻114号 2021年12月15日発行(年4回発行)

2021年を振り返って



昨年度に引き続き、館内の情報コーナー（2階ライブラリー入口）にてミニ企画展示を開催



総会及び観察会を実施



ネットを活用した講座の実施



皆がマスクをして、感染予防対策を行い講座を実施

2021年は昨年に比べ、はるかに大きく新型コロナウイルスに影響された一年でした。

1月から3月、まん延防止等重点措置をはさみ8月・9月に緊急事態宣言が発出され、友の会行事も多くを中止することとなりました。

夏の第5波以降は感染者は少なくなり、国や県でも県も経済活動を順次再開する方向で進んでいます。

オミクロン株など、新たなリスク要因はありますが、友の会としてもできるだけ活動を活性化すべく、感染防止対策を検討しながら、友の会活動を行ってまいります。

ぜひ皆さまもご参加くださるようお願いいたします。

目次

事務部より	2
情報クリップ	2
活動報告	3
学芸員の雑記帳	4
友の会講座紹介（ミニ企画展）	5
行事案内	7

事務局より

2021年度友の会第4回役員会の開催

2021年9月18日(土曜日)午後より、第4回友の会役員会を開催しました。

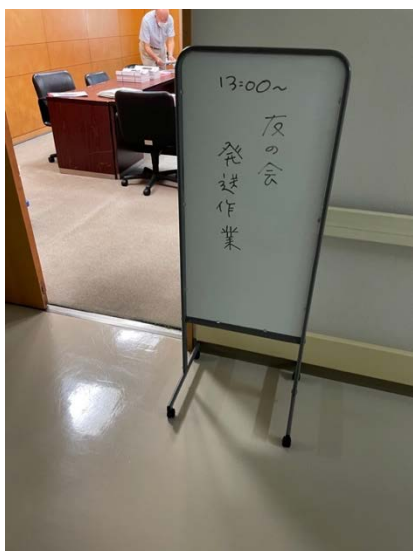
コロナの第5波もようやく落ち着いてきた時期ではありますが、念のため、発送作業は人数を絞って役員会とは別に9月20日に行い、役員会はZOOMにて開催しました。

会員状況等の報告では、コロナ禍で講座があまり実施できていない中、昨年度比90%となっており、引き続き多くの方にご参加いただけている状況との報告がありました。

企画部からは、来年度の講座の企画募集について説明がありました。コロナの状況がどうなるか、不明ではありますが、積極的に企画を立てていただくよう依頼がありました。



ZOOMによる役員会の様子



情報クリップ

友の会会員数：363名(11月1日現在)

正会員：360名／賛助会員：3名

●空調等改修工事のため休館中



工事期間：2021年11月1日(月)～

2022年3月15日(火)予定

博物館は現在、空調等改修工事のため休館中です。なお、休館中も電話やメールによるレファレンスや問合せに対応しています。調査・研究のための資料利用も通常通り受け付けています。また、講座や観察会などのイベントも実施しています。

休館中の情報については、博物館ウェブサイト、及び公式Twitterなどでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先：神奈川県立 生命の星・地球博物館

企画普及課 TEL：0465-21-1515

FAX：0465-23-8846

ウェブサイト：<https://nh.kanagawa-museum.jp/>

公式Twitter：@seimeinohoshiPR

友の会ブログ：<http://blog.livedoor.jp/kpmtomo/>

友の会 公式Twitter：@kpmtomo

活動報告（植物観察会）

『身近な植物観察入門』

2021年10月23日(土) /博物館周辺 /11名(スタッフ含む) /担当：植物グループ

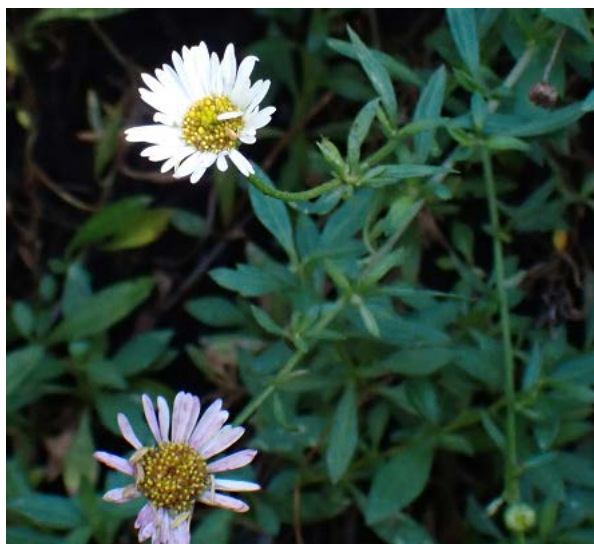
生命の星・地球博物館付近を探索し、身近な植物と接するのが目的で始まった植物グループメンバーによる観察会である。前回9月はコロナ感染症の感染拡大中で中止となった。今回は、緊急事態宣言が解除され、申し込み者が7名と今までで一番多い参加者となった。

今回は6月の時と同じコースで吾性沢方面に向かった。目にとまる木、草を次から次と積極的に確認をしながら進む。

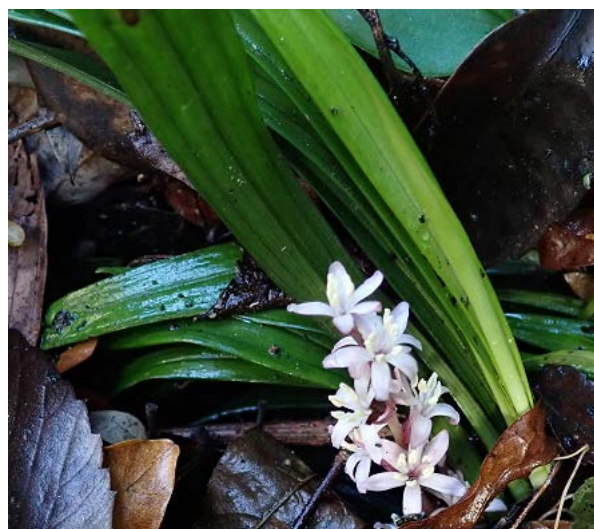
秋も深まり、久ぶりに青空が広がる。イヌビワやコクサギには実がみられ、大木のネムノキの実はいよいよ落ちてきている。紫色に色づいた豆果をつけたノササゲや緑色から黒くなりつつあるシオデのたくさんの実に歓声が上がる。立派なおかダイコンには花と実が見られ、皆で黒く熟した実をつまむと、べたべたして、手にくっついた。石垣にはペラペラヨメナが広がり、枝先に1個ずつ頭花をつけ、林道沿いではキチジョウソウの花が咲き始めているのを見つけた。オニドコロとヤマノイモの違いや、シダのおおバノイノモトソウとイノモトソウの違いなど、話題は尽きない。予定したコースも時間切れで戻ることにする。戻りながらもアシボソとササガヤの違いなど興味は尽きなかった。気がつくともズボンには、アレチヌスビトハギやヒカゲイノコヅチの実がしっかりついていて。(植物グループ 佐々木シゲ子)



熱心にメモをとる



石垣にペラペラヨメナの花



咲き始めているキチジョウソウの花



おかダイコン 黒くなっている瘦果

学芸員の雑記帳⑤

学芸員 渡辺 恭平

シロスジフデアシハナバチのなぞ

ハナバチに興味を持った昨年の冬以降、ずっと出会ってみたいハナバチがいました。その名はシロスジフデアシハナバチといい、日本では少ないケアシハナバチ科に属するハナバチです（図1, 2）。



図1. シロスジフデアシハナバチ（メス）



図2. シロスジフデアシハナバチ（オス）

このハチは体長1センチ弱とやや大きめの体に、メスではふさふさとした特徴的な後脚の毛をもち、オスには銀色の毛がたくさん生えており、区別が難しいハナバチの中では容易に同定できる種です。生態は変わっていて、成虫は秋に出現し、アキノ

ノゲシの花に好んで飛来します。多くのハナバチは複数の花を利用しますが、本種はほとんどアキノノゲシのみを利用するようで、成虫の出現時期は完全にアキノノゲシの花の時期と一致します。巣は地中深くに造られ、幼虫のために花粉を集めて団子を作りますが、その団子には地面と接する面を減らすためか、3本の突起があるそうです。

このハチは西日本では比較的記録がありますが、東日本ではかなり稀なようで、散発的な記録があるにすぎません。軽井沢や栃木県からも記録があることから、南方系の種とは言いきれませんが、私の師匠によると九州では普通にいます。私は昨夏にその話を聞いたのですが、ちょうど秋に九州でハチの調査を予定していたことから、本種に出会える可能性が一気に高まった気分で、ワクワクした気持ちは高まりました。

10月、九州でのハチの調査が始まりました。電車や車の車窓からアキノノゲシを始め、多くの花が路肩に咲いているのが見えます。この視界の中にも本種がいるかもしれないと思うと落ち着かない気持ちになります。熊本県某所での調査を終え、移動中にアキノノゲシの花が咲いた空き地を発見、我慢できず同行者をお願いをして少し時間をいただき、空き地に入ります。セイヨウミツバチやアシブトムシハナバチに混ざって、明らかに大きく、オレンジ



図3. シロスジフデアシハナバチとアキノノゲシの花。

色の強いハチが飛んでおり、花にとまってせっせと花粉を集めています（図3）。憧れていたシロスジフデアシハナバチだ！！

歓喜の声を上げて採集し、まじまじと眺めてしまいます。プロポーシヨンの整った、なんと良いハチでしょうか。

興味深いのはその後、アキノノゲシがある場所では大概、本種の姿が見られたことです。アキノノゲシ



図4. シロスジフデアシハナバチの生息環境

シの花は午前中に咲き、午後に萎みますが、午前中にアキノノゲシが咲いている場所を調べると、市街地のそばを含めたほとんどどこ

にでも本種の姿が見られました。熊本県の阿蘇では、道路わきにわずか1株のアキノノゲシだけがある場所でも、本種が採れたことから、私には本種が普通種である印象を受けました。本種がいる場所はいわゆる空き地や荒地のような「しょうもない」環境（図4）で、神奈川県でもいくらかでも見られる環境です。私にはなぜ本種が東日本で稀なのか、その理由の見当がまったくつきませんでした。

本種は神奈川県からは未記録ですが、山梨県の四方津で採集された記録があることから、隣接する相模原市には生息している可能性が大いにあります。アキノノゲシの花を見かけたら、ぜひ探してみてください。

友の会講座紹介

友の会では、皆さまに友の会活動の主たる活動である講座のご紹介を、パネルをとおして行っています。今年も3月から博物館2階ライブラリー入口の博物館情報コーナーにてミニ企画展としてご紹介していました。

ただ今年は新型コロナウイルス感染症のため、博物館への来館機会も減っているかと思い、今回、展示パネルを友の会通信にてご紹介したいと思います。なお、このパネルを作成したのが今年の上旬ということで、予定していた講座の一部は中止とさせていただいております。活動目的や内容は記載のとおりですが、活動予定についてはその辺りをご了承ください。

今年は、コロナにより活動自粛を余儀なくさせられましたが、来年はぜひ活発に活動したく、今回ご紹介させていただきます。

なにとぞ、よろしくお願いいたします。

ミニ企画展示にあたって

神奈川県立 生命の星・地球博物館 友の会の活動内容を知らせていただき、催し物にご参加いただきたく、今年も友の会の主なグループの活動を5枚のパネルにしました。

友の会では、「講座」や「観察会」などグループ独自のものと、「よろずスタジオ」のような博物館と友の会の共催行事などを行っています。いずれも友の会会員と博物館の学芸員が協力し、行事を企画・運営しているものです。講師は主に博物館の学芸員をお願いしていますが、外部の先生を招いて活動する事もあります。また、活動する場所は博物館施設内の実習実験室や講義室などの他、昨年は新型コロナウイルス感染症防止の為あまりできませんでしたが、野外に出て昆虫や植物の観察・採集をしたり、地学の巡検に出かける事もあります。

博物館は展示を見学するだけの場ではなく、積極的に好きな分野の学習をするところでもあります。友の会の会員となり、気の合う仲間と共に活動し、専門の知識を有する学芸員からいろいろと学べる事はとても楽しい事です。

まずは、この機会に興味のあるグループの講座へ参加してみませんか。

2021年3月
神奈川県立 生命の星・地球博物館 友の会

友の会活動

よろずスタジオの活動紹介

担当:赤堀千里

コロナ禍での実施



皆マスクをして、家族ごとに距離を取って参加



頭骨の標本を前に大島学芸員の「ブタはイノシシの間だからキバがあるよ(→)」の説明を聞く

過去の場面から



2021年度計画

分野	協力学芸員	場所	内容
鳥類	折原学芸員	1F東講義室	いろいろなキノコを見てみよう
動物	鈴木学芸員	1F東講義室	動物の骨とつくりとらし
古生物	田口学芸員	1F東講義室	見上げてみよう！展示室で
貝類	佐藤学芸員	1F東講義室	巻貝の中をみてみよう
植物	大島学芸員	1F東講義室	動物の歯とたべもの
植物	友の会スタッフ	1F東講義室	葉っぱで遊ぶ
魚類	瀬田学芸員	1F東講義室	ミツリガサメをよく見てみよう
昆虫	遠近学芸員	1F東講義室	昆虫の体を見てみよう
地学	西澤学芸員	1F東講義室	未定

※日程については調整中です。また、内容も変更になる場合があります。

地図が読めれば、フィールドでの楽しさ倍増！！

友の会講座「地図を楽しもう」のご紹介

講師 新井田学芸員 担当 友の会関口

本講座は10年以上も続く息の長い講座です。自然史探究者にとっては**フィールド活動**は必須。この時、地図が読めればもっといろいろなことがわかるのに〜、という思いはありませんか？

本講座ではそんな思いの方にお答えいたします。ご参加いただければ、**地図に載っている様々な情報**を知り、これを活用するための**コツ**を学べます。いわば、地域のことをもっと知る講座です。

地図が少しでも理解でき身近なものになれば、情報満載の地図を持つてのフィールドは**知的楽しさ倍増**です。読図の方法を学び、**地図をもつて、いっしょに歩いてみませんか。**

■午前中は、室内で地図の読み方とそのコツを学びます。



■午後は地図をもつて、博物館近辺をふらふらします。野外で地図の表記と実際の様子を見比べつ、地図情報をつかみます。



談座用水から分岐する、山崎発電所の専水官出発点です。こここの標高や、専水官や発電所の地形上の表記や記号について、地図と実際の構造物の違いを見ていきます。



箱根湯本熊野神社入口にある、湯本温泉の源泉地です。地図にある温泉マークを辿りかけてきました。奥にある白い太てのハイプが、源泉の明けハイプです。熊野神社は「ゆづり」＝「ゆづり」神社ともいわれ、温泉に由来の深い神社です。箱根のおちこの源泉地には、熊野神社があります。

「里山むしてくクラブ」の紹介

～ 友の会昆虫グループ ～

2018年度からスタートし4年目を迎えたグループです。月1回(12～3月除く)里山等をのんびり歩いて虫を探して楽しんでいます。また春と秋に観察会を、夏に講座を開催しています。一緒に虫を通して自然に親しみ、小さな体に詰まった種を繋ぐための知恵と工夫を垣間見ませんか。ご参加をお待ちしています。

2021年度観察会の日程

観察会

講師：渡辺恭平学芸員

- (1) 5月26日(水)
「春の里山で逢うのはどんな虫？」
場所：曾我丘陵
- (2) 10月5日(火)
「10月みんなどうしている？秋の虫」
場所：久野

講座(場所：当博物館 実習実験室)
9月22日(水)
「カメシを知ろう」
内容等の詳細は未定

全観察会、講座とも往復はがきによる申し込み制です。詳細は2021年度友の会行事一覧をご覧ください。



小田原市曾我の里山風景

2019年5月観察会風景



観察会で出たい虫たち



ミズイロオナカジミ



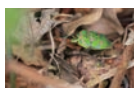
ウラハミミサ



リンゴカミキリ



シロスジカミキリ



アカスジキンカメシ



ハサミツノカメシ

生命の星・地球博物館 友の会地学グループ

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての活動を中止しました
野外観察会 2回
地話懇話会 4回

～2021年度活動予定～
★『野外観察会』：臨地での地層・鉱物等を日帰りで観察します
観察会 2021年 6月12日(土)
デブラ観察会 12月11日(土)

★『地話懇話会』：地学分野の話題を皆さんと気軽に話し合います
※今年に限り事前申し込み制で開催します
開催時間 15:00～16:30
2021年 6月23日(水)
8月25日(水)
以降の日程については調整中です



地話懇話会 2020年1月



地話懇話会 2018年6月



生命の星・地球博物館友の会の大きな特徴の一つは、講座を友の会会員が企画することだと思っています。ぜひ、今回ご紹介した講座を参考に、皆さまも講座を企画していただければと思っています。

「植物観察会」のご紹介

～友の会植物グループ～

私たち植物グループは植物担当の学芸員とともに年に5～6回の植物観察会を実施しています。2021年度は県内6観察地を計画。また植物グループのメンバーが講師となって博物館周辺を約2時間ほど歩く「身近な植物観察入門」も企画しました。

2021年度の日程

- 2021年
4月18日(日) 泉の森の春を楽しむ
・大和市
6月1日(火) ウメガサソウ咲く
・渋沢丘陵・・・・・秦野市
9月10日(金) 初秋の箱根路を歩く
・・・・・箱根町
10月13日(水) 秋の衣笠公園
・・・・・横須賀市
12月11日(土) 冬を迎えた生田緑地
・・・・・川崎市

- 2022年
3月23日(水) 天照山の春植物
・・・・・湯河原町

*「身近な植物観察入門」4、5、6、9、10、11月の第4土曜日

2020年度の観察会から

草原の秋草を楽しむ・
熱海岩戸山 10月7日



観察会風景

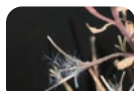


コキンバイザサ



イズゴメクサ

秋の深まりを感じて歩く・
座間谷戸山公園 11月5日



アカバナ・
種の旅立ち



コマユミ・
赤い仮種皮で鳥を誘う



*****「身近な植物観察入門」*****

10月24日

11月28日



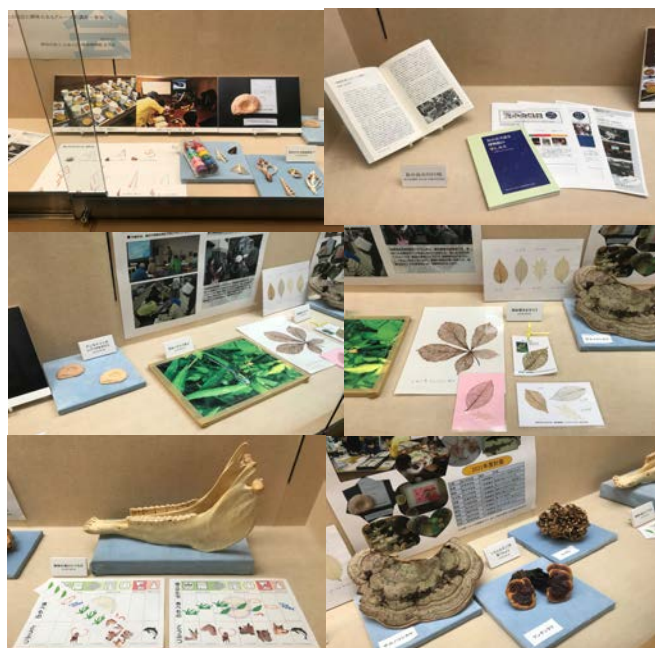
カラスノゴマ



タラヨウ



ノササゲ



ミニ企画展での展示物

行事案内

◆ 植物観察会「天照山の春植物」

天照山は神奈川県南西部湯河原町、藤木川上流にあります。林道でイヌガシの花を、沢沿いでコチャルメルソウ、トウゴクサバノオ、ネコノメソウの仲間の花などをゆっくりと探してみましょう。

実施日：2022年3月23日（水） 雨天中止

場 所：湯河原町 天照山

集 合：JR 東海道線 湯河原駅 9:30

湯河原駅からタクシーで広河原まで行きます。帰りはバス利用で湯河原駅へ。

解 散：同駅 15:00 頃

講 師：田中徳久学芸員

対 象：大人10名（応募者多数の場合抽選）

参加費：1,100円

（往路のタクシー・保険・資料等）

締切り：2022年2月28日（月）必着

連絡先：小久保恭子 0467-32-0092

090-4136-3025

*詳細は返信はがきでお知らせします。



イヌガシの雌花（クスノキ科）



ムカゴネコノメ（ユキノシタ科）

2022年4月から植物観察会の申込み方法が変わります

これまで往復はがきで申し込んでいたのですが2022年4月の『小山田緑地観察会』からは電子メールでの申し込みになります。

申込期間内に下記アドレスに申し込んでください。

アドレス：shokubutsuG@gmail.com

件名：行事名（例えば小山田緑地観察会申込）

メール本文に住所、氏名、会員番号、電話番号、年齢、を必ずお書きください。

- ・1通のメールで複数名の申し込みも可能です。
- ・数日のうちに受け付けた旨の返信をいたしますが1週間たっても返信がない場合は各観察会の連絡先に電話でお問い合わせください。
- ・メールを使わない方は電話でお申し込みください。（詳細は各行事案内を参照）
- ・お知らせいただいた個人情報については観察会終了後直ちに廃棄いたします。

『身近な植物観察入門』は今までどおり電話でお申し込みください。

（友の会植物グループ）

◆ 植物観察会「里山に早春の植物を訪ねる」

小山田緑地にコケリンドウ、スミレ類、タマノカンアオイなど早春の花を観察いたします。小山田緑地は、東京都立の公園で自然豊かなところです。里山の春を満喫しましょう。

実施日：2022年4月5日（火） 雨天中止

場 所：町田市 小山田緑地

集 合：小田急多摩線 唐木田駅 10:00

唐木田駅——山中分園——トンボ池——アサザ池——本園——唐木田駅

解 散：同駅 15:00 頃

講 師：田中徳久学芸員

対 象：大人15名（応募者多数の場合抽選）

参加費：500円（保険・資料等）

申込み：3月1日～15日の間に下記メールへ

行事名、氏名、住所、電話、年齢、会員番

号、メールアドレスをご記入して申し込んでください。

shokubutsuG@gmail.com

電話申込み：メールの無い方は3月10～15日の
18：00～21：00の間に電話で申し込んで
ください。

問合せ・申込先：080-3394-5101 山田隆彦



コケリンドウ（リンドウ科）

● 博物館は2021年11月より2022年3月まで、
改修工事にはいり、休館いたします。そこで、
博物館内で実施する友の会講座はすべて中止とな
ります。

会員の皆さま方には講座のご参加を楽しみにさ
れていた方もいらっしゃると思いますが、ご期待
にそえず申し訳ございません。

何とぞご理解くださいますよう、お願いいたし
ます。



友の会主催行事の参加申し込みについて

往復はがきに必要事項を記入して、友の会事務局までお送りください。FAXや電子メールでの受付は原則出来ませんので、ご注意ください（講座によっては可）。ご不明な点は友の会事務局へお問い合わせください。

■必要事項：行事名／開催日／参加者全員の氏名・年齢（学年）／会員番号／代表者の住所・電話番号／指定事項

注意！

■参加費は友の会会員1名分の金額で、内訳は資料代、傷害保険料です。それ以外のものは特記事項に記載があります。バスなど予約が必要な場合、参加者個々に材料を購入する場合などの講座参加確定後のキャンセルは、代わりの方をご紹介いただくか、参加費を負担していただく場合があります。

■オープンの行事は会員以外の方も参加できます（参加費が会員とは異なる場合があります）。

■小学生以下の参加は保護者同伴が原則です。

■チラシの発行されない行事もありますので、直接＜連絡先＞へお問い合わせください。

■持ち物など詳細は返信はがきに記載されます

ー広報部よりー

2018年度から通信の編集作業は外注から広報担当者が行っています。編集作業や新規企画提案など通信作成のお手伝いをしていただけると非常に助かります。お手伝いいただける方は、下記メールアドレスにご連絡ください。よろしくお願いします！

次号は、2022年3月15日発行予定です

発行：神奈川県立生命の星・地球博物館友の会
Vol.25、No.3、通巻114号 2021.12.15 発行

編集：友の会広報部

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499

TEL：0465-21-1515 FAX：0465-23-8846

E-mail：kpmtomo@ybb.ne.jp

Blog：http://blog.livedoor.jp/kpmtomo

Twitter：@kpmtomo